

遊具等の定期点検業務標準仕様書

第1節 一般事項

1. 1 適用

- (1) 本遊具等の定期点検業務標準仕様書（以下「標準仕様書」という）は、遊具等の定期点検業務（以下「業務」という）に適用する。
- (2) 標準仕様書に規定する事項は、特に定めがある場合を除き、受注者の責任において履行すべきものとする。
- (3) 全ての契約図書は、相互に補完するものとする。ただし、契約図書間に相違がある場合の優先順位は、次の(a)から(c)の順番とする。
 - (a) 契約書
 - (b) 公園等遊具点検委託仕様書
 - (c) 標準仕様書

1. 2 用語の定義

標準仕様書において用いる用語の定義は、下記による。

- (1) 「市監督員」とは、遊具等の管理業務に携わる者で、遊具等の定期点検業務の監督を行うことを発注者が指定した者をいう。
- (2) 「受注者等」とは、当該業務契約の受注者又は契約者の規定により定めた受注者側の主任技術者をいう。
- (3) 「主任技術者」とは、業務を総合的に把握し、業務を円滑に実施する為に市監督員との連絡調整を行う者で、現場における受注者側の責任者をいう。

主任技術者は、(一社)日本公園施設業協会が認定、登録した公園施設製品安全管理士（以下「安全管理士」という。）または公園施設点検管理士（以下「点検管理士」という。）でなければならない。
- (4) 「現場代理人」とは、主任技術者の指導管理・監督により業務を実施する者で、現場における受注者側の担当者をいう。

現場代理人は、(一社)日本公園施設業協会が認定、登録した公園施設製品整備技士（以下「整備技士」という。）、公園施設点検技士（以下「点検技士」という。）、安全管理士または点検管理士でなければならない。ただし、「主任技術者」と「現場代理人」の兼務はできない。
- (5) 「業務関係者」とは、主任技術者及び現場代理人を総称していう。
- (6) 「市監督員の承諾」とは、受注者等が施設管理者に対して書面で申し出た事項について、市監督員が書面をもって了解することをいう。
- (7) 「市監督員の指示」とは、市監督員が受注者等に対し業務の実施上必要な事項を書面によって示すことをいう。

- (8)「市監督員と協議」とは、協議事項について、市監督員と受注者等とが結論を得るために合議し、その結果を書面に残すことをいう。
- (9)「完了検査」とは、契約書に規定する全ての業務の完了確認、又は支払いの請求に関わる業務の終了の確認をするために、発注者が指定した者が行う検査をいう。
- (10)「作業」とは、標準仕様書で定める遊具等の定期点検業務をいう。
- (11)「劣化」とは、物理的、化学的、生物的要因によりその物の性能が、低下することをいう。(ただし、地震、火災等の災害によるものを除く。)

1. 3 受注者の負担の範囲

- (1) 点検業務に必要な工具、測定機器等は受注者側の負担とする。

1. 4 関係法令の遵守

- (1) 点検業務の実施にあたり、適用を受ける関係法令等を遵守し、業務の円滑な遂行を図ること。

第2節 業務関係図書

2. 1 業務の記録

- (1) 市監督員と協議した結果については、書面にて記録し整理すること。

第3節 業務現場管理

3. 1 業務管理

- (1) 業務契約図書に適合する業務を完了させるために、業務管理体制を確立し品質、工程、安全、法令遵守等の業務管理を行うこと。

3. 2 主任技術者

- (1) 主任技術者は、現場代理人に作業内容及び市監督員の指示事項等を伝え、その周知徹底を図ること。
- (2) 主任技術者は、現場代理人以上の経験、知識及び技能を有する者で「安全管理士」または「点検管理士」であること。

3. 3 業務条件

- (1) 業務を行う月日及び時間等は、市監督員と協議のうえ、実行すること。

第4節 業務の実施

4. 1 現場代理人

- (1) 現場代理人は、その作業等の内容に応じた必要な知識及び技能を有する者で「点検技士」、「整備技士」、「点検管理士」または「安全管理士」であること。

4. 2 点検の範囲

- (1) 点検業務の対象遊具等は、別紙1及び別紙2による。
- (2) 遊具等の点検内容は、(一社)日本公園施設業協会が規定する「定期点検総括表」

(別紙 3 参照)「定期点検表」(別紙 4 参照)に準じて実施しその結果について報告すること。

(※防食テープ等が巻かれている場合は、点検箇所や点検方法について事前に協議すること。)

4. 3 点検の実施

- (1) 点検業務の中で測定を行う必要がある場合は、定められた測定機器又は(一社)日本公園施設管理業協会認定の JPFA 点検器具もしくは、それと同等の性能を有する器具を使用して行うこと。
- (2) 点検業務は現場代理人が行い、その点検結果に基づく判定は主任技術者が行い、職務を兼ねることはできない。

4. 4 安全対策

- (1) 点検作業においては、作業中であることを表示するとともに、公園利用者へ危害・迷惑をかけることの無いように十分な安全対策を講ずること。
- (2) 点検の結果、緊急な使用禁止が必要と判断される遊具等については、事前に市監督員と打ち合わせた手順に従うこと。

4. 5 作業服装

- (1) 業務関係者は、業務及び作業に適した服装にて作業を実施し、「点検技士」、「点検管理士」、「整備技士」、「安全管理士」の携帯用認定証等を携帯して作業に従事すること。

4. 6 点検業務の報告

- (1) 主任技術者は、作業の結果を記載した業務報告書を作成し、市監督員へ契約書に定められた期日内に報告すること。